

等々力防災 Watch!

No.5

災害時の備えについては、食料や水も大切ですが、トイレについても忘れてはなりません。過去の大災害の例を見ても、避難所等におけるトイレの確保とその衛生管理は、最重要課題と言えます。今回は、災害時におけるトイレの備えについて考えてみましょう！



避難所のトイレはどうなっているの？

世田谷区では、災害時用のトイレとして、避難所となる区立小中学校の敷地内にマンホールトイレを設置しています。

マンホールトイレは、下水道本管に繋がっており、溜まったし尿は、すぐそばに設置されている井戸の水で流す仕組みになっています。

学校内にある避難所運営用倉庫には、マンホールの上に設置できる専用のテントと便器が備蓄されています。

マンホールトイレってなに？



校内に設置されたマンホール



マンホールの上に設置したテント・便器

マンホールトイレって地震で壊れないの？



マンホールトイレに繋がっている下水道管は耐震化されており、地震に強い作りになっています。また、補完的なものとして、便器等に被せるだけで用を足すことができる排便収納袋等が避難所運営用倉庫に備蓄されています。

なお、避難所運営用倉庫にあるトイレットペーパーは、限られたスペースのため、備蓄の数が多くありません。避難時には、各家庭から持ち寄る必要があります。

裏面に続く